

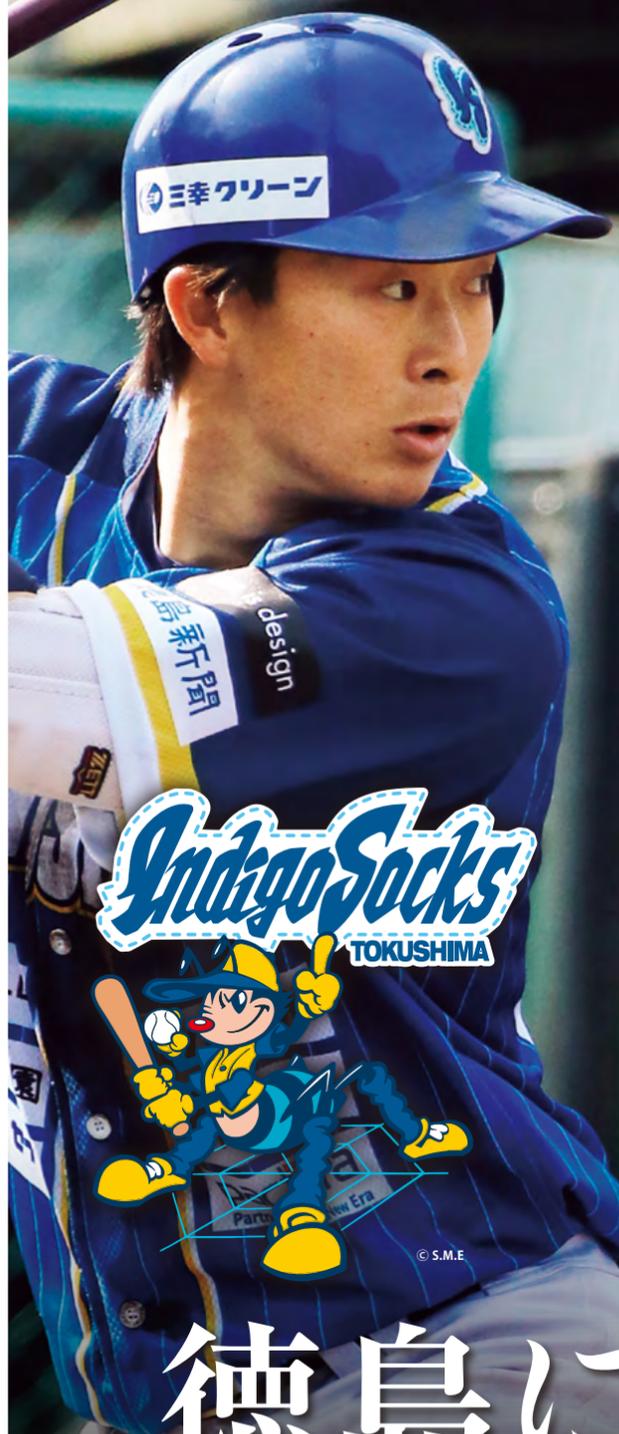
県政だより
アワーとくしま

令和6年10月号 No.444 発行:徳島県生活環境部県民ふれあい課 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL088-621-2095 FAX088-621-2862 E-mail our-toku@mail.pref.tokushima.lg.jp
人口 685,878人 男 328,111人 女 357,767人 世帯数 309,884世帯 [2024年9月1日現在]



OUR 徳島

令和6年10月号
No.444



徳島に、勝利と誇りを。

夢と感動が渦巻く、プロスポーツを応援しよう。

サッカー、野球、バスケットボールという、3つのプロスポーツがある徳島。チームや個人の目標に向かって真剣勝負に臨み、躍動する選手たちの姿は、子どもから大人まで多くの人々に夢と感動をもたらしてくれます。

プロスポーツが地域にもたらす経済効果や住民同士の連帯感の向上は、やがて県民のシビックプライド(地域の愛着や誇り)へとつながり、徳島の未来にさまざまな希望や可能性を生み出してくれます。

一流の技と心を持った選手たちの勇姿を、ぜひ会場で応援してください。

県公式LINEからは大雨警報や土砂災害警戒情報といった防災情報だけでなく、県からのお知らせや電子申請、施設の予約など便利なサービスを利用することができます。簡単にシェアもできるのでご家族やご友人にもご紹介ください。



県民の夢と希望を背負い、選手たちが躍動する3つの「プロスポーツ」。
各チームのキャプテンに、徳島への思いや試合への意気込みを伺いました。

プロスポーツが、徳島を熱くする。

インタビューの様子をショート動画にしました。こちらからご覧ください。
紙面に関するお問い合わせ 県スポーツ交流課 ☎088-621-2553 ㊟088-621-2819



NPB入りを目指す選手たちの 全力プレーを見てほしい。

徳島インディゴソックス キャプテン 寺岡 丈翔 選手

プロとしての第一歩を徳島から

日本各地にある独立リーグは、NPBを目指す選手が集まる場所です。僕自身も大学を卒業後、NPBへのドラフト指名実績が豊富な徳島インディゴソックスに入団しました。レベルの高い選手が全国から集まっていることもあり、入団当初は「本当にこの中でやれるのか？」という不安からスタートしたことを覚えています。

入団1年目は思うような成績が残せず、NPBの指名を受けることができませんでした。その悔しさをバネに監督やコーチの指導のもとで練習に励んだ結果、今年は打率、打点、本塁打数などの成績を大きく伸ばすことができました。



●ファンとのふれあいが、選手たちの原動力です。



●2024年は、前期・後期ともに優勝を飾りました。

地域から愛される球団に

僕の地元は福岡ですが、子どもの頃からよく野球を観戦しました。その時に感じたスタジアムの雰囲気や選手の懸命なプレーを見て「カッコいい!」と思ったのが、プロを目指すようになったきっかけです。独立リーグは選手とファンの距離感が近く、たくさんのファンの方からのエールが選手のモチベーションになっています。

今年はチームの成績も良く、前期・後期ともに優勝を飾りました。みなさんの声援を力に変え、強いチームの姿を見せることで、今まで以上に地域の方々から愛される球団になっていきたいです。

応援して 夢に向かう選手の世界に感動!

徳島インディゴソックス ファン チアリーディングチーム BlueSpiders 藤井 織帆さん

高校時代、部活動で試合のパフォーマンスに参加させていただいた時からファンになりました。プロの世界をいつも身近に感じられるのは本当に最高。夢に向かって努力する選手たちの姿に、いつも元気をもらっています。今年は母校の吹奏楽部と一緒にスタンドで応援することができ、忘れられない思い出の一つになりました。



徳島インディゴソックス 2024年シーズンは終了しました。ご声援ありがとうございました!
2025年シーズンは、2025年3月下旬開幕予定!



未来を担う子どもたちに 大きな夢を与えられる存在に。

徳島ヴォルティス キャプテン 永木 亮太 選手

サポーターの声援を力に変えて

以前の徳島ヴォルティスは、守りのポジションから前線へしっかりとボールをつなぐサッカーでしたが、監督が変わってからは勝利のための最適解を目指したシンプルなサッカーを取り入れるようになりました。残り試合数も少ないですが、J1に昇格するためのプレーオフを目指し、チーム一丸となって頑張っています。

スタジアムに足を運んでくれるサポーターは、僕たち選手にとって特別な存在です。大きな声援をピッチ上で味わえる幸せを感じながら、気持ちを高ぶらせています。この素晴らしい雰囲気を、ぜひ観客席から感じてください。



●今年の阿波おどりでは、演舞場で踊る阿呆に。



●応援してくれるサポーターのために全力で戦います。

県民の方々が誇れるチームに

サッカーを含めて徳島には3つのプロスポーツがありますが、地元チームを応援するために集まれる場所があることは、県民の方々にとって本当に素晴らしいことだと思います。僕自身も、子どもの頃に日本代表選手のプレーを見て「自分もこの場所でやりたい」と思いながらサッカーを続けてきました。

今では徳島の子どもたちに、プロとして恥ずかしくないプレーを見せる立場になったことを自覚しながら、普段のプレーや立ち居振る舞いを心掛けています。ファンの皆さんが憧れる存在になれるよう、これからもチーム一丸となって頑張ります。

応援して 一体感を味わえる喜びがある

徳島ヴォルティス サポーター 朝田 勝也さん

徳島ヴォルティスを応援し続けて20年近くになりますが、プロたちが見せてくれる本物のプレーを地元で観戦できる素晴らしさや、スポーツを通してファン(県民)の方々と一緒にになれる喜びを感じています。1戦1戦のプレーを通して、これからもファンに元気を与え続けて下さい。私たちと共に戦い、徳島を盛り上げましょう! GO! VORTIS! LOVE! VORTIS!



徳島ヴォルティス ホームゲーム ●10月20日(日) 14:00~ VS 藤枝MYFC
●11月3日(日) 14:00~ VS 鹿兒島ユナイテッドFC [ホーム最終戦] 試合日程はこちら



生まれたばかりのチームを、 ブスターとともに育てていきたい。

徳島ガンバロウズ キャプテン 塚本 雄貴 選手

参入2年目でのB2昇格を目指す

徳島ガンバロウズが初めてB3リーグに参入した昨年は、僕がチームに加入させていただいた年でもあります。これまでの人生の中でも大きな決断でしたが「新規参入チームの一員としてチャレンジできる機会は、二度と来ないかもしれない」と思って徳島への移籍を決めました。

今年、チームは2年目のシーズンを迎えますが、目標はもちろんB2に昇格することです。昨シーズンを戦い抜く中で、最後まで諦めない姿勢を選手やスタッフと共有することができました。『ガンバロウズ』というチーム名が持つ意味を、全力プレーで伝えていきたいです。



●9月下旬にB2昇格を目指す戦いがスタートしました。



●ブスターの声援を大きな力に変え、新たな試合に臨みます。

徳島の一体感がチームを強くする

僕が子どもの頃は日本にバスケットのプロリーグはなく、テレビの向こうにいるNBAの有名選手に憧れて育ちました。徳島の子どもたちが僕たちの姿を見て「いつの日かガンバロウズの選手になりたい」と思ってもらえれば最高ですね。

最近では会場で声援を送ってくださるブスターの姿も増え、その熱量が伝わってきます。選手とフロント、そしてブスターの皆さんが一体となって同じ目標に向かうことで、チームはさらに成長することができるはず。まだプロの試合を見たことがない方もぜひ会場に足を運んでいただき、プロリーグの魅力を感じてください。

※ブスター:特定のバスケットボールチームのファンのこと

応援して 僕もいつかプロの選手に!

徳島ガンバロウズ ブスター 勝浦ミニバスケットボールクラブStandup! 後藤 颯良さん

地元でB3リーグのプロチームができたことが嬉しくて、ブスターになりました。実際に試合を間近で見たときに、自分たちのミニバスケットボールとは格が違うなと思いました。将来は僕もプロ入りして、いつの日かNBAでプレーしたいです。ガンバロウズがB2に昇格できるよう、2シーズン目もがんばってください!



徳島ガンバロウズ ホームゲーム ●11月2日(土) 18:00~ VS 山口パッツファイブ [県民応援デー] 試合日程はこちら



ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。



守り続けたい鴨島大菊人形

●あわっ子文化大使リポーター 徳島県立川島中学校 2年 藤井 亮輝さん

吉野川市鴨島町には秋の恒例行事「鴨島大菊人形」があります。歴史は古く、地元の企業が正14年に町民の娯楽のために開催するのが始まりだそうです。昭和16年には戦争で一時中止となりましたが戦後に復活しました。その後、時代の変遷と共に

形や場所が変わり、現在は吉野川市役所前が会場となっています。一番人気はNHKの大河ドラマの主人公たちの菊人形を間近で見られるところです。昨年は「どうする家康」のシーンが再現されており家康や信長の着物や甲冑が鮮やか



(吉野川商工会議所 提供)

な菊で彩られていました。等身大ということもあり迫力満点です。その他にも吉野川市

内の小学生や中学生、高校生が育てた菊や、地元の菊愛好家の方々が見守る菊が500鉢ほど展示されています。僕が菊人形を見に行き行って印象に残ったのは、見ている人々の嬉しそうな笑顔です。特に高齢者の笑顔を見ると、この「鴨島大菊人形」の文化をとぎれさせてはならないという思いが芽生えました。若い方も一度おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に素敵な菊を見に足を運んでみてください。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。県義務教育課 ☎088-621-3054 ㊟088-621-2882



なると金時と渭東ねぎのチヂミ すだちだれ



水はけが良く通気性の良い砂地畑で育てられた「なると金時」と「渭東ねぎ」(徳島市渭東地区産のブランド青ねぎ)を使ったレシピです。

●レシピ提供 県とくしまブランド推進課



- 作り方 ①なると金時は長さ4~5cmの細切り、渭東ねぎは斜め薄切りにし、★と混ぜ、生地を作る。 ②すだちの半分を絞り、残りは薄切りにし、☆を混ぜ、たれを作る。 ③フライパンにごま油大さじ1を熱し、①の半量を薄く広げ、両面を2分ずつこんがり焼く。裏返すときに、ごま油大さじ1を鍋肌から回し入れる。 ④好みの大きさに切って、すだちだれを添えて完成!
- 材料 [2枚分] ●なると金時200g (約1本) ●渭東ねぎ(青ねぎ)1本 ●ごま油大さじ4 ★=溶き卵1個・薄力粉150g・水150ml・塩 少々 ☆=醤油大さじ2・酢大さじ1・すだち1個・赤唐辛子の小口切り1本分

お知らせ

第1回徳島子どもメディカルラリー知事杯を開催しました!

県内各地から集まった小学生の皆さんが、南海トラフ巨大地震など、いざ発災時に自分たちや大切な人の命を守るため、AEDの使い方や心肺蘇生法について学び、楽しみながらメディカルラリーに挑戦しました。

また、特別ゲストとしてお越しいただいた、国境なき医師団日本の会長である、中嶋優子先生に記念講演をしていただきました。



[問] 県消防保安課 ☎088-621-2284 ㊟088-621-2849





さまざまな読書のカタチがあります

誰もが読書ができる社会を目指しています

県では、さまざまな読書のカタチを知ってもらい、障がいの有無にかかわらず、すべての人が読書を楽しめる環境づくりを推進するため、公立図書館や点字図書館、福祉機関等と連携した取組を行っています。

読書の困りごとはありませんか？

- 文字が見えない、見えにくい
- 本を持つことやページをめくることが難しい
- 文章を読むことが難しい

※学習障がい等の発達障がいにより、右図のように脳が文字を認識して、文章を読むことが困難な場合があります。



●バリアフリー図書を次の方法でご利用いただけます

貸出

徳島県立図書館、徳島県立障がい者交流プラザ視聴覚障がい者支援センターにお問合せください。

徳島県立図書館
☎088-668-3500
☎088-668-6904



県視聴覚障がい者支援センター
☎088-631-1400
☎088-631-1500



インターネット配信サービス

点字データ、音声デジジー等を利用できます。

サピエ図書館
運営：全国視覚障害者情報提供施設協会



**国立国会図書館
視覚障害者等用
データ送信サービス**



さまざまなバリアフリー図書や読書支援機器があります

文字による読書や図書館利用が難しい方も、「音声でよみあげる」、「文字の大きさや色をかえる」、「さわって読む」など、バリアフリー図書や読書支援機器によって、自分に合ったカタチで読書を楽しむことができます。



きく



みる・きく



きく

●オーディオブック

聴いて読書ができるよう、図書の内容を専門のナレーターが読み上げた音声で収録された音声コンテンツ。

●マルチメディアデジジー

音声と一緒に、文字や画面が表示される。文字や画像をハイライトしながら、音声と一緒に読むことができる。

●音声デジジー

図書や雑誌の内容を録音して音声にしたもの。デジジー再生機で読み上げさせて聴くことができる。



さわる



みる



さわる

●点字図書・点訳絵本

●拡大読書器

●布の絵本

[問] 県教育委員会生涯学習課 ☎088-621-3148 ☎088-621-2884

三田文学新人賞 佳作受賞 石澤 遥さん講演会 「大学生小説家が生まれるまで」を開催

今年2月に三田文学新人賞で佳作を受賞した四国大学文学部日本文学科4年 石澤遥さんによる講演会を8月9日に文学書道館で開催しました。石澤さんは大学入学後、若手小説家の登竜門とされる文学賞に立て続けに入選されるなど輝かしい実績をあげられています。

講演会では、石澤さんから受賞作品の魅力や創作活動、今後の目標などをお話いただき、中学生や高校生を

中心に県内外から多くの方がご来場されました。参加した高校生からは「自分も小説を書いてみようと思った」という感想をいただくなど、文芸文化の次世代育成に繋がる機会となりました。



[問] 県文化振興課 ☎088-621-2552 ☎088-621-2934

徳島県石井町出身、京橋史織さんの ミステリー小説「午前0時の身代金」

新米弁護士の小柳のもとに相談に訪れた女子学生が、その夜、突然失踪した。翌朝、クラウドファンディングで日本中から10億円の身代金を募るという前代未聞の誘拐事件が発覚する――！斬新な設定、読者を翻弄する展開、抜群のリーダーダビリティ。デビュー作にしてエンタメ小説の面白さが詰まった、新機軸のノンストップ・ミステリー小説。



©新潮社

京橋史織「午前0時の身代金」(新潮社刊)



徳島県立総合大学校(まなびーあ徳島)特別講座のご案内

「思いを繋ぐ」 講師/一色 さゆりさん

この秋、徳島が舞台となる小説『音のない理髪店』が出版されます。日本で最初に聾学校の理髪科を卒業して、自分の店をもった祖父をもつ小説家の主人公が、祖父をモデルにした小説を書くための取材を通して、ろう者である祖父母やコーダ(ろう者に育てられた聞こえる子ども)である父や伯母、そしてコーダの娘である自分の思いを知る・・・という

物語です。小説の著者であり、自身の祖父も徳島で「ろう理容師」をされていた、一色さゆりさんを講師に迎え、著者自身が取材を通して知った「ろう者の歴史」や小説に込めた思いについて講演いただくなど、「多様な方々が共生し、交流し、活躍する『ダイバーシティとくしま』の実現」に向け、機運醸成を図ります。



撮影/森 清



●日時/令和6年11月4日(月・振休) 午後1時30分から午後3時まで

●会場/四国大学交流プラザ5F フォーラムホール

徳島市寺島本町西2丁目35-8

[問] 県生活環境政策課 ☎088-621-2329 ☎088-621-2758



とくしま特選ブランド クイズ&プレゼント

県民の夢と希望を背負い、選手たちが躍動する3つのプロスポーツは「〇〇ガンパロウズ」「〇〇インディゴソックス」「〇〇ヴォルティス」。〇〇に入る文字は何でしょうか。

●プレゼント なんと金時チップス 【おさっち。】

抽選で5名様



10袋化粧箱入り(プレーン味、塩味各5袋)
[提供] 株式会社コア北島
徳島名産のなんと金時を使用し、「パリッと」「国内原料100%使用」をコンセプトに徳島県内外の多くのお客様に評価をいただいております。本格的な芋の香りがお茶うけや行業のお供に最適です。

●応募締切 10月23日(水)必着

答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき、Eメール(宛先は表紙上部に記載)、または県公式LINEのメニューから応募ください。応募は9月号の正解は「バッテリー」「パレイ」構想でした。



応募はこちら

あわとくVOICE

●ここまでバッテリーパレイ構想が加速しているとは全く知りませんでした。(50代) ●アワスクエア、行ってみたいですね！記事を見ていて、欲しかった物がありました！(30代) ●「阿波とん豚の烏龍茶煮」はとても簡単で美味しそうなので、ぜひ作ってみたいと思います。(40代)

徳島県ホームページ



徳島県チャンネル



徳島県公式 X(旧Twitter)



徳島県公式 Facebook



徳島県公式 LINE



徳島県公式 Instagram



広報紙Web版



県民目安箱



点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、
視聴覚障がい者支援センターへ
☎088-631-1400 ☎088-631-1500